



令和6年度第1回 富山県薬剤師確保対策推進協議会資料

-
1. 薬剤師の確保の状況について
 2. 富山大学薬学部「地域枠」について
 3. 昨年度の取組みについて
 4. 今年度の取組みについて
 5. 今後の予定について
 6. その他・参考情報
-

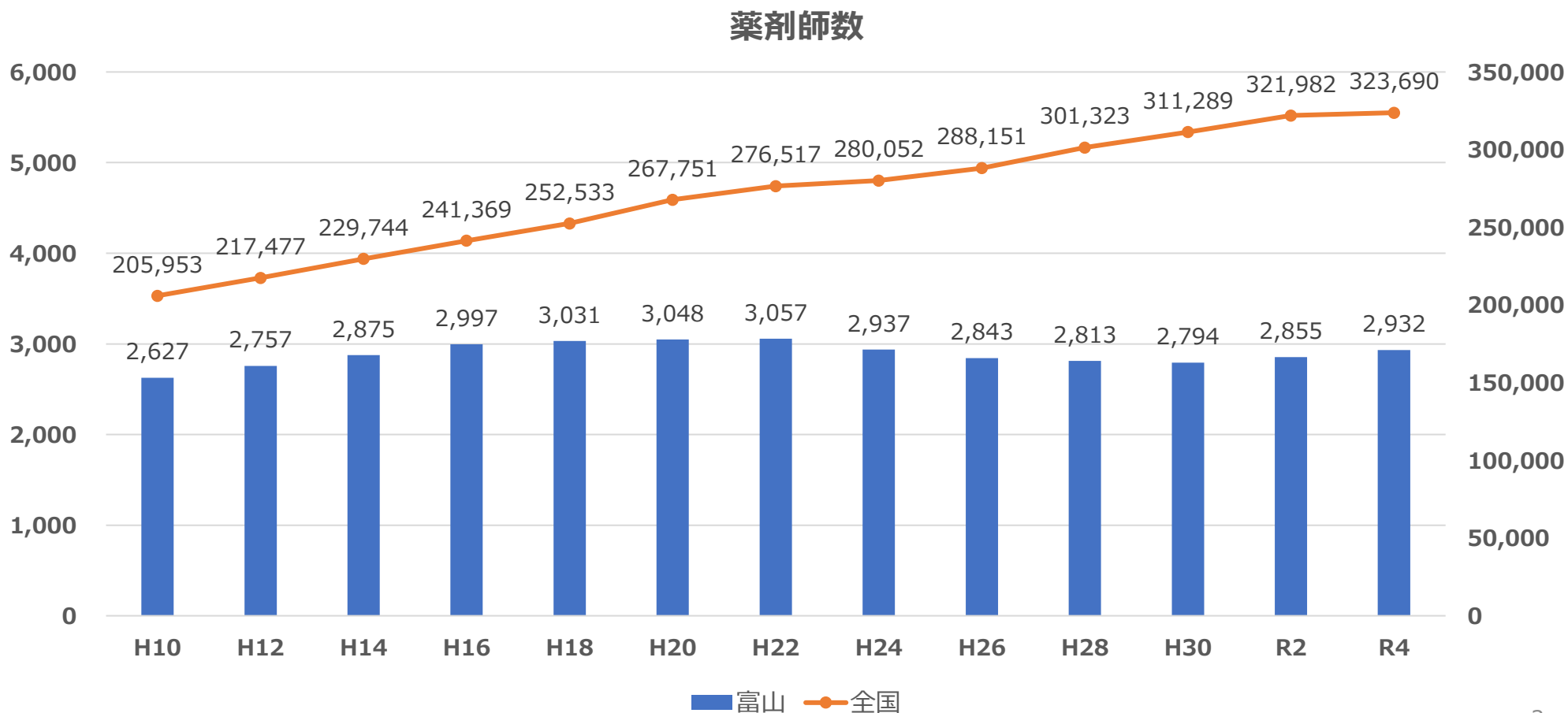
令和6年8月8日

令和6年度第1回富山県薬剤師確保対策推進協議会

1. 薬剤師の確保の状況について

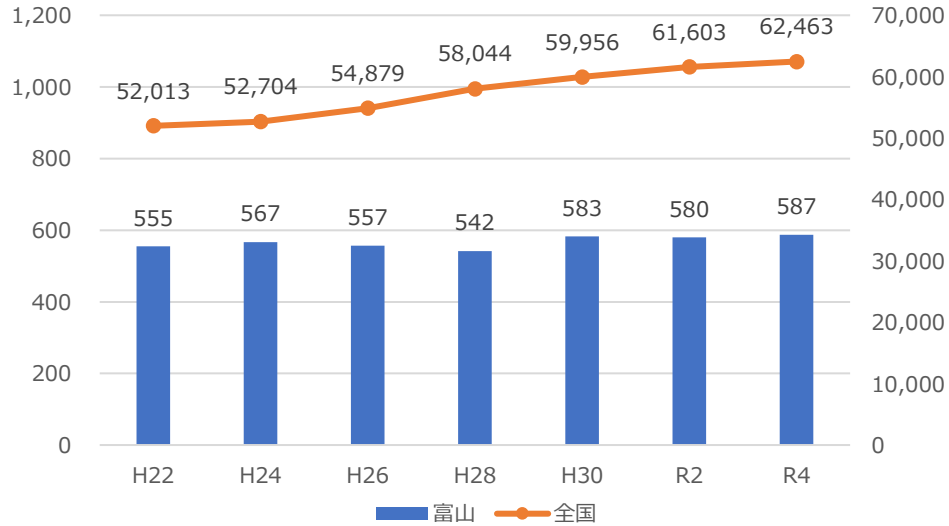
富山県の薬剤師数の推移

- 過去22年間で、薬剤師は一貫して増加傾向を示しているが、富山県においては横ばいから減少傾向（ピーク時の平成22年と比較し、令和4年で▲4.1%）。新卒薬剤師の就業地の地域偏在が示唆される。
- 令和4年12月末時点のデータ（令和6年3月公表）では、県内の薬剤師数は微増（+77人）だったが、病院・診療所や製薬企業に勤務する薬剤師数など、全体の傾向は大きく変わっていなかった。

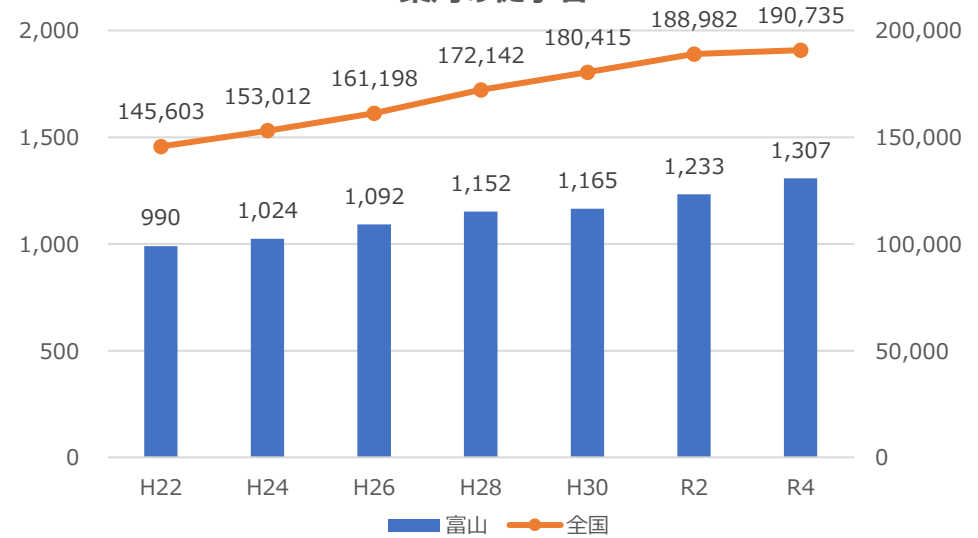


富山県の薬剤師数の推移（業種別）

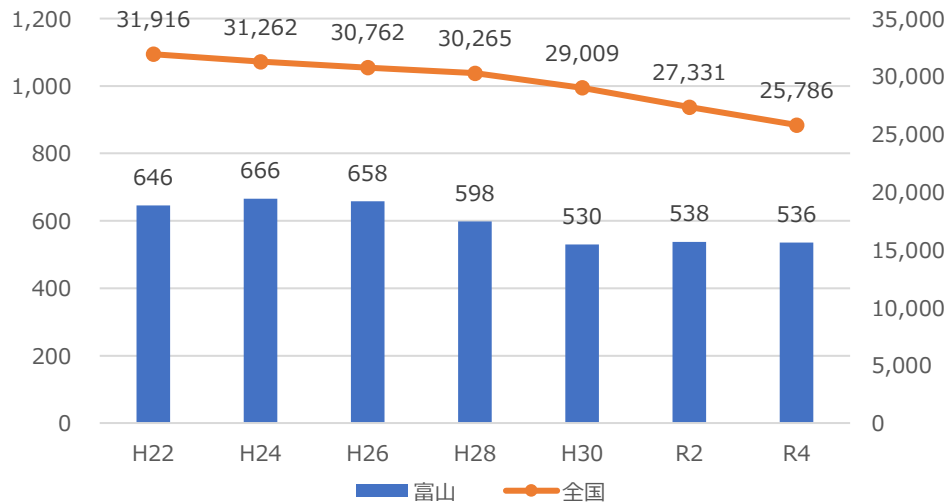
医療施設（病院・診療所等）の従事者



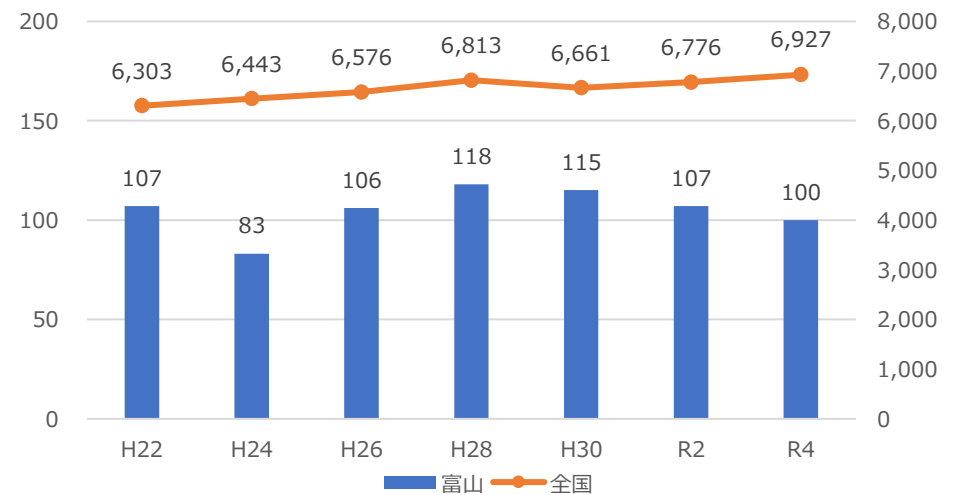
薬局の従事者



製薬企業の従事者



衛生行政・保険行政機関の従事者



富山県内での薬剤師の募集に対する採用充足率

- 県のアンケート調査では、県内の公的病院、製薬企業、県職員のいずれにおいても、また、いずれの年度でも、募集人数に対して4～5割程度しか薬剤師を採用できていない。
- 令和5年度春の入職者の状況についても、過去と同様の傾向であった。

※くすり政策課・薬事指導課調べ

(1) 公的病院 (23病院)

公的病院へのアンケート結果をもとに、薬剤師の採用数について集計（非常勤職員は常勤換算して計上）
なお、県立中央病院は、県職員としての採用であるため含まれない。

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
採用人数／募集人数	15.7/42 (37%)	19.7/37 (53%)	15.3/35 (44%)	16.6/37 (45%)

(2) 製薬企業

製薬企業へのアンケート結果をもとに、薬剤師資格を持つ新卒の採用数について集計

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
回答企業数	65	70	70	74
採用人数／募集人数	9/20 (45%)	7/19 (37%)	8/19 (42%)	12/33 (36%)

(3) 県職員 (県庁・厚生センター・県立中央病院など)

県の薬剤師職の採用数について集計（通年採用を実施しており、募集人数は年度当初）

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
採用人数／募集人数	3/10 (30%)	7/13 (54%)	4/8 (50%)	4/8 (50%)

富山県内出身者の6年制薬学部¹の在籍人数

- 薬学教育協議会の調査によれば、**令和6年5月時点**で6年制薬学部¹に在籍している富山県出身者は345名。都道府県人口千人当たりで、全都道府県で下から3番目（前年度より1位上昇）。

【上位5都道府県】

順位	都道府県	在籍者数	人口千人当たり
1	奈良	968	0.7469
2	和歌山	568	0.6368
3	兵庫	3,398	0.6328
4	徳島	424	0.6101
5	高知	401	0.6021

【下位5都道府県】

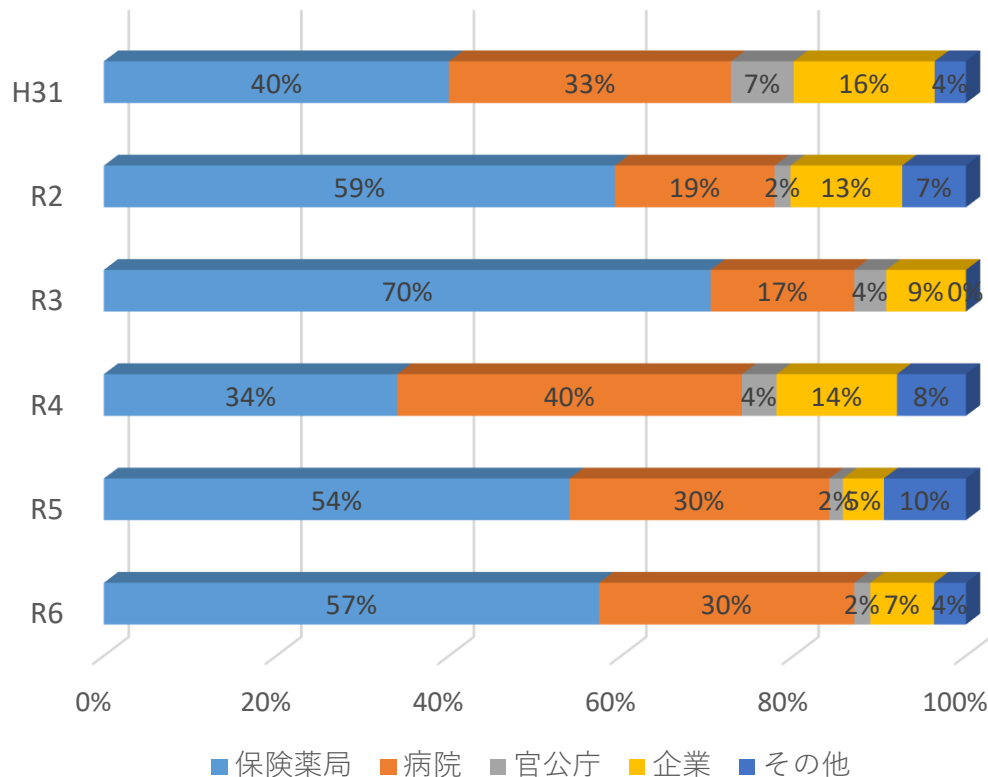
順位	都道府県	在籍者数	人口千人当たり
43	島根	259	0.3985
44	山形	370	0.3606
45	富山	345	0.3426
46	岩手	393	0.3379
47	秋田	296	0.3239

一般社団法人薬学教育協議会「令和6年度在籍者数調査結果」より作成
人口千人当たりは、総務省統計局「人口推計（令和5年10月1日現在）」を用いて算出した。

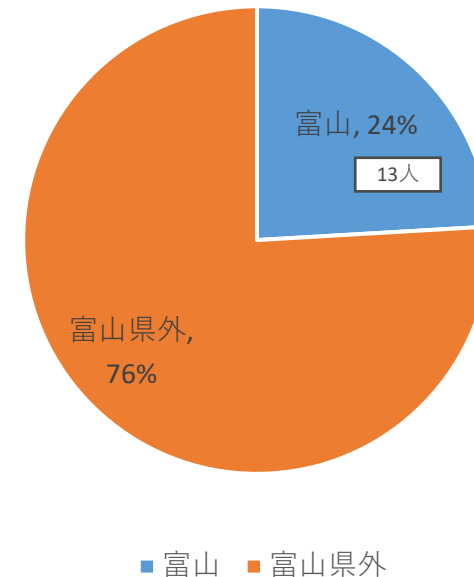
富山大学薬学科卒業生の就職状況

- 薬剤師の進路については、年によってその傾向が変わる。
直近（R4,R5,R6）においては、**病院への就職が30%~40%**であり、以前（R2,R3）に比べて回復傾向にある。
- 富山大学薬学科生の県内就職率は**24%**と低迷しており、近年は同様の状況が続いている。

〔富山大学就職状況〕



〔R6.3富山大学薬学科卒業生進路地〕



2. 富山大学薬学部「地域枠」について

富山大学薬学部「地域枠」の創設と修学資金制度のねらい

※ 令和5年3月8日発表

<富山大学薬学部「地域枠」の創設について>

富山県内の持続的な医療基盤の充実・産業の発展を支える中核となる薬剤師の輩出・地域定着を目指す。
国立大学の薬学部として、全国初の「地域枠」。

- 募集対象： 富山県内の高等学校等を卒業した者（卒業1年以内）
- 募集定員： 10名（薬学部薬学科70名の内数）
- 選抜方式： 一次試験…書類審査、適性検査（英/数/物/化の記述式試験）
最終試験…面接、地域医療等に関するプレゼンテーション
- 教育課程： 地域創生型カリキュラム
 - ・ 県内製薬企業へのインターンシップ（企業薬剤師育成学）
 - ・ 県内病院・行政等の見学ローテーション（薬剤師キャリアデザイン学）など

令和6年4月入学生への
入試から対象



- 薬剤師の採用難が続く本県において、地域枠から輩出される薬剤師には、**確保の必要性が高い従事先に、確実に定着**することが期待されている。
- 地域枠生に対する経済的インセンティブの付与で、**優秀な学生を集める**とともに、**学業に集中できる環境の提供により、地域をリードできる人材の育成**につなげる。

薬剤師定着のための「地域創生型カリキュラム」

臨床薬学教育推進センター

新設

■ フューチャー・アレンジメント部門

■ 臨床教育部門

■ グローカル・リレーション部門

富山県病院薬剤師会
富山県薬剤師会
富山県内製薬企業
富山県厚生部
富山薬窓会

○ 必修科目
○ 正課外

薬剤師リカレント
教育プログラム

県内薬剤師を対象とした
スキルアップ卒後教育

薬都とやま
未来懇談会

必修化
企業薬剤師育成学
(インターンシップ)

必修化
病院・薬局実習

卒後

新設
薬剤師キャリア
デザイン学

必修化
薬学経済

5年次

6年次

薬都富山のくすり業界の将来を考える
正課外イベント (薬都とやま未来懇談会)

薬学概論
製薬企業概論

4年次

県内病院・薬局での長期実務実習 (病院・薬局実習)

3年次

薬学部同窓生による多様なキャリア紹介 (薬学経済)

2年次

県内製薬企業へのインターンシップ (企業薬剤師育成学)
県内病院・薬局・行政の見学ローテーション (薬剤師キャリアデザイン学)

1年次

早期体験学習：県内病院・薬局見学、薬事行政 (薬学概論)
県内製薬企業による企業紹介 (製薬企業概論)

地域創生
コース

令和6年度入学者選抜の入試データ

入試区分	募集人員	志願者数	合格者数	倍率
前期日程	35	150	40	4.3
後期日程	5	122 (受験者数 41)	7	24.4 (8.2)
学校推薦型	10	57	10	5.7
総合型（研究者養成枠）				
1次選抜		21	15	
最終選抜	10	15	10	2.1
総合型（地域枠）				
1次選抜		17	15	
最終選抜	10	15	10	1.7
合計	70		77	

■令和6年度の日程

出願期間：11月1日（金）～ 11月8日（金）

第1次選抜日：11月21日（木）

第1次選抜合格発表日：11月29日（金）

最終選抜日：12月14日（土）

最終選抜合格発表日：12月20日（金）

■総合型選抜「地域枠」募集要項について

正式な募集要項は、7月19日に公表されました。

＜富山大学HP 入試の種類と募集要項＞

<https://www.u-toyama.ac.jp/admission/undergraduate-exam/guidebook/>



3. 昨年度の取組みについて

富山県の薬剤師確保の取組みについて

令和5年度予算額：15,000千円

(※3事業の関連部分の合計)

【薬剤師確保の状況（令和4年度）】 ※富山県くすり政策課調べ

	公的病院	製薬企業	行政（県職員）
募集充足率 (採用人数/募集人数)	53% (19.7/37)	37% (7/19)	54% (7/13)



YouTubeで、公的病院説明会の模様を動画配信中。

【令和4年度の取組み】 → 令和5年度事業に反映

- **富山大学・公的病院関係者の意見交換会** (R4:110千円)
病院薬剤師の確保に向け、富山大学・公的病院・県の連携体制を構築し、今後の取組み内容について意見交換（令和4年11月1日開催）。

- **病院薬剤師PR試行・評価事業** (R4サンドボックス:1,800千円)
富山大学で、病院薬剤師の役割や魅力を紹介する説明会を12月に開催（約150名が参加）。説明会の模様は、YouTubeで全国の薬学生等に向けて動画配信中。

【令和5年度の取組み】

- **「くすりの富山」薬剤師確保対策事業** (R5:12,000千円)

【令和4年度以前からの継続事業】

- ◆ **「富山県薬剤師確保対策推進協議会」の開催**
県薬剤師会、県病院薬剤師会、県薬業連合会、富山大学、有識者で構成される協議会を設置し、県の薬剤師確保対策について検討を行う。

- **薬剤師育成確保対策事業** (R4:2,000千円 → R5:2,000千円)
薬剤師を志す学生を増やすため、中高生・保護者を対象に以下の企画を実施。

- ◆ **公的病院の薬剤師確保対策の推進**

① 短期インターンシップの開催

全国の薬学生を対象に、県内の公的病院で短期インターンシップ（職場体験）を開催する。県外の薬学生に対しては、富山県までの往復旅費の補助を予定。

- ◆ **薬剤師のお仕事体験学習**

夏休みに、公的病院、調剤薬局、薬総研で薬剤師業務の体験学習を行う。

参加者数 (令和4年度)	調剤薬局コース (中学生)	公的病院コース (高校生)	薬総研コース (中・高校生)
	52名	40名	48名

② 薬剤師キャリアポータルサイトの制作

富山県で働くことに興味がある薬学生・薬剤師向けに、公的病院等における薬剤師キャリアの紹介や、採用関連情報への誘導を行うポータルサイトを制作。

- ◆ **未来の薬剤師発掘セミナー**

春休みに、大学における薬学教育の説明や、病院・薬局・製薬企業等の薬剤師の仕事紹介などのセミナーを開催（令和3年度参加者数：85名）。

③ 薬剤師キャリアPRパンフレット、動画制作

病院薬剤師のキャリアイメージをPRする動画やパンフレットを制作。内容は、R4年度「病院薬剤師PR試行・評価事業」の成果を反映。

- **富山県製薬企業セミナー開催** (R4:1,000千円 → R5:1,000千円)

※ 地方大学・地方産業創生くすりコンソーシアム推進事業費の内数

- ◆ **県庁・県立中央病院の薬剤師職員の確保対策**

リクルートサイトの活用や、就活イベントでのPR活動など。
(令和6年春採用より、「病院採用枠」の新設・早期募集を実施)

県内の医薬品産業と製薬企業を知ることができる業界研究セミナーの開催（令和4年度参加者数…県外大学生向けのオンライン開催：68名、県内大学生向けの対面開催：40名）、県内製薬企業PRパンフレットの作製。

くすりの富山 薬学生・薬剤師応援サイト

- これまで、病院薬剤師会や薬業連合会のHPでも採用関係の情報やイベント告知などがあったが、薬学生・就活生の目にとまりにくいことが懸念された。
- 富山で薬剤師として働こうとする方の目にとまる情報の「入口」として、ポータルサイトを作成（本日公開）。
- 掲載情報については、関係団体の皆さまにも積極的にご活用いただきたい。



新着情報・お知らせ

2024/05/21
7月13日 仕事体験・インターンシップ説明会の実施について >
製薬企業

2024/04/07
富山県病院薬剤師求人情報 (R6.4.5現在) >
公的病院

[一覧を見る >](#)

イベント・研修会

2024/06/05
「薬剤師のお仕事体験学習」の開催について >
製薬企業 行政 公的病院 薬局

2024/03/07
「未来の薬剤師発掘セミナー」の開催について >
公的病院 薬局

2024/02/17
富山県薬物乱用防止セミナーを開催します >
行政 公的病院 薬局 製薬企業

- ✓ 「新着情報・お知らせ」や「イベント・研修会」は、関係団体の皆さま（薬連、県薬、県病薬）自身で、情報の投稿が可能。
- ✓ イベント等の情報は、直接、各団体等のサイトの該当ページにリンクすることが可能。



URL: <https://kusuri-no-toyama.jp/>

公的病院の薬剤師PR ①パンフレット

- 県病院薬剤師会のご協力の下、病院薬剤師の仕事の魅力ややりがいなどを掲載したパンフレットを作製。
- 薬剤師ポータルサイトの掲載コンテンツとして活用するとともに、各公的病院に配布し、リクルート活動に利用していただいている。



主な内容

- **公的病院薬剤師に聞いてみた！**
病院薬剤師を選んだ理由、給与、仕事のやりがいなどを、先輩たちがQ&A形式で回答
- **病院薬剤師の1日**
新人薬剤師と10年目薬剤師、それぞれの1日に密着
- **公的病院薬剤師の活躍**
『地域連携』と『災害医療現場』をテーマとして、富山労災病院、富山赤十字病院の皆さんに、薬剤師の活躍についてインタビュー
- **意外と知らない！富山の「実は…」**
- **富山県公的病院一覧**

※ 薬剤師ポータルサイトには、他にも、薬業連合会作成の「製薬企業PRパンフレット」や既存の動画コンテンツなども掲載している。

公的病院の薬剤師 P R ②Web動画

- 薬学生などに病院薬剤師の仕事に興味を持ってもらえるように、パンフレット制作時の取材にあわせて、YouTube用の動画を作成した（富山県公式チャンネル、薬剤師ポータルサイトに掲載）。
- パンフレットには紙面の都合で掲載できなかった本格的なインタビューから、学生のみなさんに見てもらいやすいショート動画まで、硬軟織り交ぜたラインナップとしている。

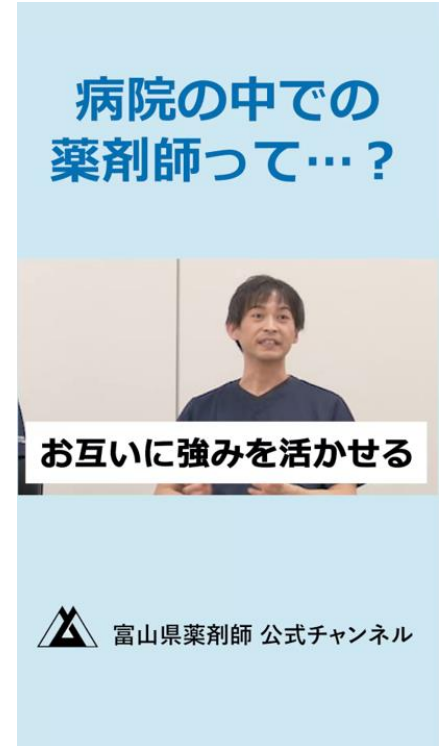
○ 病院薬剤師の1日（新人・10年目）



○ 富山の薬剤師に聞いてみた（仕事編・生活編）



○ ショート動画



○ 地域連携の取組み



○ 災害医療の取組み



4. 今年度の取組みについて

富山県の薬剤師確保の取組みについて 令和6年度予算額：2,830万円

【薬剤師確保の状況（令和4年度）】 ※富山県くすり政策課調べ

	公的病院	製薬企業	行政 (県職員)
募集充足率 (採用人数/募集人数)	53% (19.7/37)	37% (7/19)	54% (7/13)

【富山県出身者の6年制薬学部在籍人数（令和5年度）】

順位	都道府県	在籍者数	人口千人当たり
1	奈良	972	0.7443
46	富山	345	0.3392

※「令和5年度在籍者数調査結果：(一社)薬学教育協議会」「人口推計(R4.10.1現在)：総務省統計局」より算出

【令和6年度新規事業】

【新】富山県地域薬剤師確保修学資金貸与事業(R6:1,430万円)

R6年度より、富山大学薬学部薬学科に創設された「地域枠」の入学生(10名)に対して、卒業後薬剤師となり、一定の期間、県内の公的病院や製薬企業等で勤務した場合に返還が免除となる修学資金を貸与

「富山県地域薬剤師確保修学資金」

入学料・授業料相当額、修学費5万円(月額)6年間計：約709万円

【拡】「くすりの富山」薬剤師確保対策事業(R6:1,100万円※継続込)

- ◆ **地域枠生と考える中高生向け薬学・薬剤師PR事業(200万円)**
地域への貢献意欲の高い「地域枠」一期生のアイデアを活かした、中高生向けの薬学・薬剤師職のPR対策を、病院・薬業界と協力しながら検討・実施
- ◆ **人材紹介サービスを活用した行政薬剤師確保事業(350万円)**
人材紹介サービスを活用した行政薬剤師の確保を試行的に実施

【令和5年度以前からの継続事業】

【継】薬剤師育成確保対策事業 (R5:200万円 → R6:200万円)

薬剤師を志す学生を増やすため、中高生・保護者を対象に以下の企画を実施。

- ◆ **薬剤師のお仕事体験学習**：夏休みに薬剤師業務の体験学習を行う。

参加者数 (令和5年度)	調剤薬局コース (中学生)	公的病院コース (高校生)	薬総研コース (中・高校生)
	52名	39名	48名

- ◆ **未来の薬剤師発掘セミナー**

春休みに、大学における薬学教育の説明や、病院・薬局・製薬企業等の薬剤師の仕事紹介などのセミナーを開催(令和4年度参加者数：87名(オンライン含む))

【継】富山県製薬企業セミナー開催等 (R5:100万円 → R6:100万円)

※ 地方大学・地方産業創生くすりコンソーシアム推進事業費の内数

県内の医薬品産業と製薬企業を知ることができる業界研究セミナーの開催(令和5年度申込者数…12月9日、2月25・26日の計3回オンライン開催 126名)

県内製薬企業PRパンフレットの作製。

【継】「くすりの富山」薬剤師確保対策事業

- ◆ **「富山県薬剤師確保対策推進協議会」の開催**(R6:100万円)
協議会において、県の薬剤師確保対策について検討を行う。
- ◆ **公的病院薬学生短期インターンシップの開催**(R6:140万円)
全国の薬学生を対象に、県内の公的病院で短期インターンシップ(職場体験)を開催する。県外の薬学生に対しては、富山県までの往復旅費をサポート
※R5年度は、3日間で機能の異なる3病院を体験するプログラムを実施

参加者数 (令和5年度)	県外大学生	県内大学生
	16名	6名

- ◆ **県庁・県立中央病院の薬剤師職員の確保対策**(R6:300万円)
リクルートサイトの活用や、就活イベントでのPR活動など。
(令和6年春採用より、「病院採用枠」の新設・早期募集を実施)

地域枠生と考える中高生向け薬学・薬剤師PR事業（R⑥新規）

- 「富山の中高生が薬学部に行かない」という現状に対し、**地域枠1期生のアイデアに基づいた取組みの実施・事業化**を目指す。これまで地域枠生によるグループワークを計3回実施し、検討を進めている。

グループワークの状況

▼4月～7月

- ・地域枠生を「薬剤師確保対策アドバイザー」へ委嘱
- ・3回のグループワークを実施して意見交換

▼8月～

- ・地域枠生のアイデアに基づき検討、実施・事業化へむけ調整



＜グループワーク風景＞



お仕事体験など、**中学生の時に薬局や病院の仕事を体験**できる



のは大切！

中高生にはイメージしにくい**薬学部での学びについて実際に体験**



させてあげると面白いかも！

進路を決めていない中高生に、**就職のしやすさとか薬剤師という資格の意外な魅力も教えてあげたい！**



＜地域枠生からの主な意見＞

高校生の時は、薬剤師の働く場所がこんなに色々とは知らなかった。

それが分かった今だから！

薬剤師として実際に働く人たちの話を聞かせてあげたい！



薬剤師確保の取組み①（薬剤師のお仕事体験学習）

- 中学生及び高校生が、薬剤師をはじめとする医薬品に関わる仕事に対する理解を深め、進路選択の参考とすることを目的に、「薬剤師のお仕事体験学習」を開催（H24～）

(1) 調剤薬局体験コース(中学生対象、県内 40 調剤薬局で実施)

- ・薬剤師の役割、調剤薬局での業務に関する説明
- ・模擬調剤(錠剤、散剤、軟膏、シロップ剤の調整等)

(2) 病院内薬局体験コース(高校生対象、県内 8 公的病院で実施)

- ・病院薬剤師の業務に関する説明
- ・模擬調剤、薬剤鑑別、病棟見学等(内容は病院ごとに異なります)

(3) 製薬体験コース(中学生及び高校生対象、富山県薬事総合研究開発センターで実施)

- ①製剤実習：顆粒剤及び錠剤を作製し、評価の試験を実施
- ②分析実習：くすりの成分の分析

中学生・高校生らに向けて、チラシ等を配布しPR

【参加者数】

<高校生>

	公的病院	薬総研
H30	47名	15名
R1	55名	6名
R4	40名	24名
R5	39名	23名
R6	39名	21名

<中学生>

調剤薬局	薬総研
55名	40名
64名	40名
52名	24名
52名	25名
83名	25名



※コロナの影響によりR2,3年度は中止、R4年度は一部規模縮小、R6は申込当選者数

薬剤師確保の取組み②（未来の薬剤師発掘セミナー）

- 中学生、高校生及びその保護者を対象にセミナーを開催し、「くすりの富山」の未来を支える薬剤師の重要な役割を、大学における薬学教育や、病院・薬局・製薬企業等での仕事を中心に紹介（H27～）

未来の薬剤師 発掘セミナー

薬の専門家である薬剤師の仕事への興味と理解を深め、将来、医療の担い手として、また「くすりの富山」を支える重要な役割を果たす薬剤師という職業を道路の選択肢として考えてみませんか！

薬学部に興味を持つ中学生、高校生およびその保護者の皆様のご参加をお待ちしています。



クイズに答えよう

会場参加の上位正答者に
景品プレゼント

日時 令和6年
3月9日(土)
14:00～17:00 (開場 13:30)

場所 富山県民会館 304号室
富山県富山市新総曲輪4番18号
電話 076-432-3111



※富山駅南口より徒歩10分
※駐車台数に限りがございますので、公共交通機関での来場にご協力ください。

プログラム

- 薬学部への進学
駿台教育センター株式会社 駿台教育研究所
部長代理 蓮見 連也 氏
- 富山大学における薬学教育
国立大学法人富山大学 薬学部長 松谷 裕二 氏
- 地域医療への貢献
病院薬剤師の立場から
一般社団法人富山県病院薬剤師会
麻生 美佐子 氏
(高岡市民病院 薬剤科長)
薬局薬剤師の立場から
公益社団法人富山県薬剤師会
富山県青年薬剤師会 運営委員 富岡 未悠 氏
(ウエルシア薬局射水足洗新町店 管理薬剤師)
- 富山県の医薬品産業
一般社団法人富山県薬業連合会 菊地 大介 氏
(リドケミカル株式会社 研究開発本部 研究開発部係長)

対象者 県内の中学生、高校生
及びその保護者
定員 100名(先着順)
オンライン同時開催 (zoom)

参加
無料

主な内容

- ◆ 薬学部への進学・入試について
- ◆ 富山大学における薬学教育【富山大学薬学部】
- ◆ 地域医療への貢献
 - ・ 病院薬剤師の立場から【富山県病院薬剤師会】
 - ・ 薬局薬剤師の立場から【富山県薬剤師会】
- ◆ 富山県の医薬品産業【富山県薬業連合会】

	参加者数
H29	50名
H30	80名
R1	資料配布
R2	資料配布
R3	85名
R4	現地参加 54名、オンライン接続 33
R5	現地参加 42名、オンライン接続 15

※コロナの影響によりR1, 2年度は実施方法を変更

薬剤師確保の取組み③（公的病院薬学生短期インターンシップ）

- 全国の薬学生 4・5 年生を対象に、富山県の病院薬剤師キャリアへの興味と理解を深めるとともに、将来の県内公的病院薬剤師の確保を目的として実施（R5～）
- 今年度は、8/5～8/30の間に、県内21の公的病院でインターンシップを実施中。



主な内容

- ◆ 県内の機能の異なる3病院で、3日間かけて病院薬剤師の業務を体験
- ◆ 県外からの参加者には旅費をサポートし、富山県への就職につなげる

大学所在地	石川県	新潟県 岐阜県・長野県	近畿地方 その他中部地方	関東地方	その他
支給額	5,000円	15,000円	20,000円	25,000円	30,000円

協力病院一覧

【東部】

○あさひ総合病院、○黒部市民病院、○富山労災病院、○かみいち総合病院、○厚生連滑川病院、○県リハビリテーション病院・こども支援センター、○済生会富山病院、○県立中央病院、○富山赤十字病院、○富山市民病院、○富山大学附属病院、○射水市民病院

【西部】

○JCHO高岡ふしき病院、○高岡市民病院、○厚生連高岡病院、○済生会高岡病院、○市立砺波総合病院、○南砺市民病院、○金沢医科大学氷見市民病院、○北陸中央病院、○公立南砺中央病院

※R6申込者のうち、4名が前年度参加者のピーター

【参加者数】

※R6は申込者数

	参加者	
	県内大学生	県外大学生
R5	6名	16名
R6	4名	16名

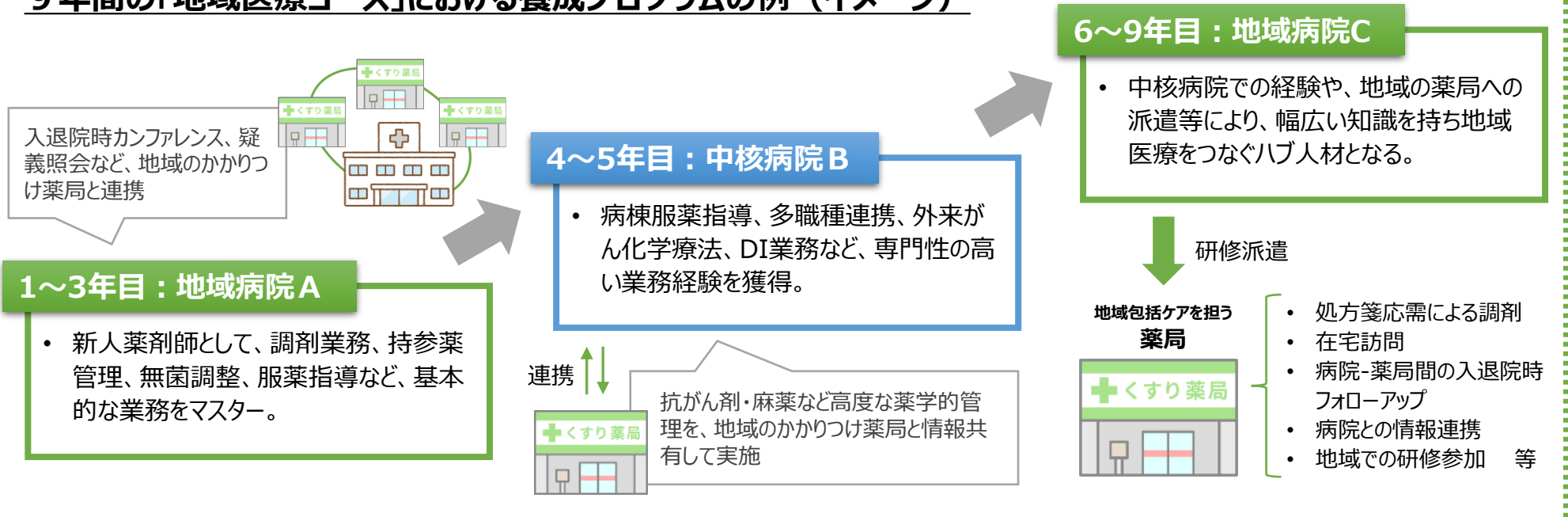
- 中高生～大学生～社会人の各段階に対する切れ目のないアプローチにより、県内で活躍する薬剤師を確保するための施策を総合的に実施
- 関係団体による「富山県薬剤師確保対策推進協議会」における議論を通じて、取組み内容の充実を図る。



5. 今後の予定について

- 地域医療コースは、規模や機能などが異なる県内の公的病院を3か所程度、ローテーションで勤務する9年間のプログラムを設定し、これを満了することを返還免除の要件とする。
- 地域卒業者が従事する医療機関は県が指定するものとし、配属ローテーションの調整は富山県病院薬剤師会と連携して行う。

9年間の「地域医療コース」における養成プログラムの例（イメージ）



9年後のコース終了後は、地域の病院や、地域連携薬局・専門医療機関連携薬局などに就職し、地域包括ケアシステムを担うキープレイヤーとなることを期待。

※具体的なコース構成は、地域卒生が実際に卒業する7年後に向けて、引き続き検討を進める。

地域医療コースの卒後プログラム検討WGの設置について

- 地域医療コースの卒後プログラムについて、1期生の卒業時に向けて具体的な検討を進めるため、ワーキンググループを設置することとしたい。

● 想定メンバー

- 4～8名程度＋県
- 病院薬剤師会（公的病院の薬剤部）
- 公的病院の事務部門（組織・人事の担当）
- 富山大学関係者

WGでの検討に当たっては、

- 石川県や東北大などにおける薬剤師派遣の取組み、
- 青森県における公立病院の薬剤師の共同採用試験など、参考となりそうな事例の情報収集も行う。

● タスク1：プログラム内容の具体化

- 現在のイメージは、国が示した取扱いを踏まえつつ、規模・機能が異なる公的病院を3か所程度ローテーションする、薬局への研修派遣など地域で活躍できる薬剤師の養成を目指す、などとしている。
- これを具体化するために、プログラムに盛り込むべき要素の設定、ロールモデル事例の作成、ローテーションの調整方法の検討などを行う。

● タスク2：人事制度上での取扱いの具体化

- 公的病院の中にも、県立、市町村立、国立大学法人、独立行政法人、厚生連、共済組合など、その運営主体も多岐にわたり、人事等の制度が異なる複数の病院ごとに採用・配属されることになる。
- そこで、採用・定数・給与・社会保障などの観点から、地域卒生に過大な不利益が生じないように整理を行う。まず、各公的病院の人事制度についてアンケート調査を実施し、問題点の精査を行う。

（なお、人事制度は1期生の卒業までに随時変更されていく可能性が高いことに留意が必要）

「製薬企業コース」のイメージ

既存資料再掲

- 製薬企業コースでは、「くすりの富山」の医薬品産業を担う人材としての薬剤師を製薬企業に輩出することを目的に、9年間以上、県内の対象企業で従事することを返還免除の要件とする。
- 返還免除に要する費用は、受益者から応分負担を求める観点から、地域枠生を採用した企業から1/2の負担を求め、県が残りの1/2を負担する。

対象企業の登録

地域枠生の採用を希望する企業を登録

対象企業リスト

- ・富山A製薬
- ・富山B製薬
- ・滑川C薬品
- ・高岡Dファーマ
- ・

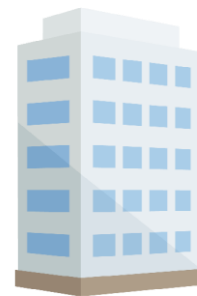
＜対象企業の主な基準＞

- ◆ 富山県内の製薬企業
- ※ 富山県内で医薬品製造業・製造販売業の許可を有していること等
- ◆ 採用学生の修学資金の返還の負担に同意



修学資金の返還費用を
県と採用企業が一定割合で負担

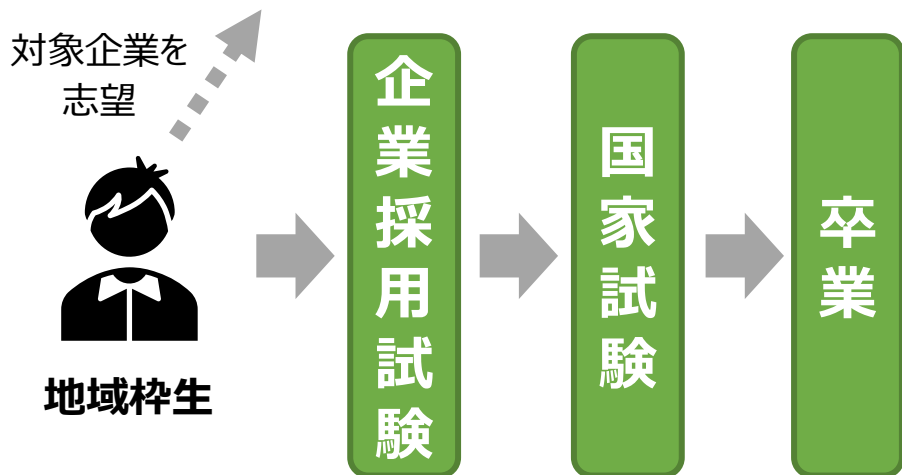
採用企業



- ◆ 製造・品質管理
- ◆ 品質保証
- ◆ 開発・研究
- ◆ 安全管理
- ◆ MR・DI 等

対象企業で9年以上の勤務

返還免除



※ 地域枠生のリストは対象企業に共有

※ 対象外企業への就職 ⇒ 本人が全額返還

地域枠生採用希望企業リスト

- 令和5年9月の意向調査以降、2社から追加の掲載希望があり、現在、23社を県HPに掲載中。
- 毎年夏に実施している県内製薬企業へのアンケート調査（くすり振興課実施）の中で、意向調査をお願いする予定。秋ごろを目途にリストの更新を行う（今後も毎年1回のペースで更新予定）。

【地域枠生採用希望企業リスト】（令和5年9月調査）

- 株式会社アイカワ
- 株式会社池田模範堂
- 救急薬品工業株式会社
- 株式会社廣貫堂
- 金剛化学株式会社
- 金剛薬品株式会社
- ジャパンメディック株式会社
- 新新薬品工業株式会社
- 第一薬品工業株式会社
- ダイト株式会社
- 大和薬品工業株式会社
- 立山化成株式会社
- テイカ製薬株式会社
- 東亜薬品株式会社
- 東興薬品工業株式会社
- 富山めぐみ製薬株式会社
- 日東メディック株式会社
- ファーマパック株式会社
- 富士化学工業株式会社
- 富士製薬工業株式会社
- 富士フイルム富山化学株式会社
- 水橋保寿堂製薬株式会社
- リードケミカル株式会社

将来、地域枠生を採用したいという
県内製薬企業のみなさまを
お待ちしております。

※ R5年9月に採用意向を調査したものであり、今後、企業が追加・削除される可能性があります。
実際に奨学金の返還免除対象となる登録企業は、改めて募集し、就職活動を開始する5年次に地域枠生に通知する予定です。

その他・参考情報

病院薬剤師の派遣に対する診療報酬上の評価について

- 令和6年度診療報酬改定において、特定機能病院等が、都道府県との協力の下、薬剤師を他の医療機関に出向派遣することで、診療報酬上の評価がなされる制度が新設された（薬剤業務向上加算）。

薬剤師の養成強化による病棟薬剤業務の向上

厚生労働省公表資料

薬剤業務向上加算の新設

- ▶ 病棟薬剤業務実施加算1（120点/週1回）について、免許取得直後の薬剤師を対象とした病棟業務等に係る総合的な研修体制を有するとともに、都道府県との協力の下で薬剤師が別の医療機関において地域医療に係る業務等を実践的に修得する体制を整備している医療機関が、病棟薬剤業務を実施する場合の加算を新設する。

(新) 薬剤業務向上加算 **100点(週1回)**



[算定要件]

病棟薬剤業務の質の向上を図るための薬剤師の研修体制その他の事項につき別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関に入院している患者であって、病棟薬剤業務実施加算1を算定しているものについて、薬剤業務向上加算として、週1回に限り所定点数に加算する。

[主な施設基準]

- 免許取得直後の薬剤師を対象とした病棟業務等に係る総合的な研修が実施されていること**として以下の要件を満たすこと。
 - 研修を総括する責任者の配置及び研修の計画、実施等に関して検討するための委員会が設置されている
 - 十分な指導能力を有する常勤薬剤師が研修を受ける薬剤師の指導に当たっている
 - 研修を受ける薬剤師の研修内容を定期的に評価・伝達する体制の整備及び研修修了判定が適切に実施されている
 - 調剤、病棟薬剤業務、チーム医療、医薬品情報管理等を広く修得できる研修プログラムに基づき研修を実施している
 - 研修プログラムを医療機関のウェブサイト等で公開するとともに、定期的に研修の実施状況の評価及び研修プログラムの見直しを実施している
- 都道府県における薬剤師確保の取組を実施する部署と連携して自施設の薬剤師を他の保険医療機関（特別の関係にある保険医療機関を除く。）へ出向を実施させる体制**として、以下の要件を満たすこと。
 - 出向先は、薬剤師が不足している地域において病棟業務やチーム医療等の業務の充実が必要な保険医療機関である
 - 出向する薬剤師は、概ね3年以上の病院勤務経験を有し、当該保険医療機関において概ね1年以上勤務している常勤の薬剤師である
 - 出向先の保険医療機関及び都道府県における薬剤師確保の取組を担当する部署との協議の上で、出向に関する具体的な計画が策定されている
- 特定機能病院若しくは急性期充実体制加算1、2に係る届出を行っている保険医療機関であること。